

2021年度第2四半期 IR決算説明会資料

2021年11月10日
日本テレビホールディングス株式会社

本資料の内容には、将来に対する見通しが含まれています。
しかし、実際の業績は、様々な状況変化や要因により、これらの見通しと大きく異なる結果となり得ることがあり、何らの保証やコミットメントを与えるものではありません。ご了承下さい。

また、本資料の無断転載はお断りいたします。

- ・ **2021年度2Q決算について**
- ・ 主なグループ企業の状況
- ・ 2021年度の見通し
- ・ コンテンツビジネス戦略
- ・ デジタル戦略・新規事業
- ・ サステナビリティポリシー

決算のポイント

Point

1

広告市況の大幅改善により増収増益

- ・ テレビ広告収入が、一昨年のコロナ禍前の水準にほぼ回復
スポット中心に増収、タイムも東京五輪などで増収
- ・ 番組制作のコストコントロールが進捗
- ・ アニメ・動画配信等の売上堅調
- ・ Huluは会員数が歴代最高、ティップネスは赤字幅縮小

Point

2

通期連結業績見通しを上方修正

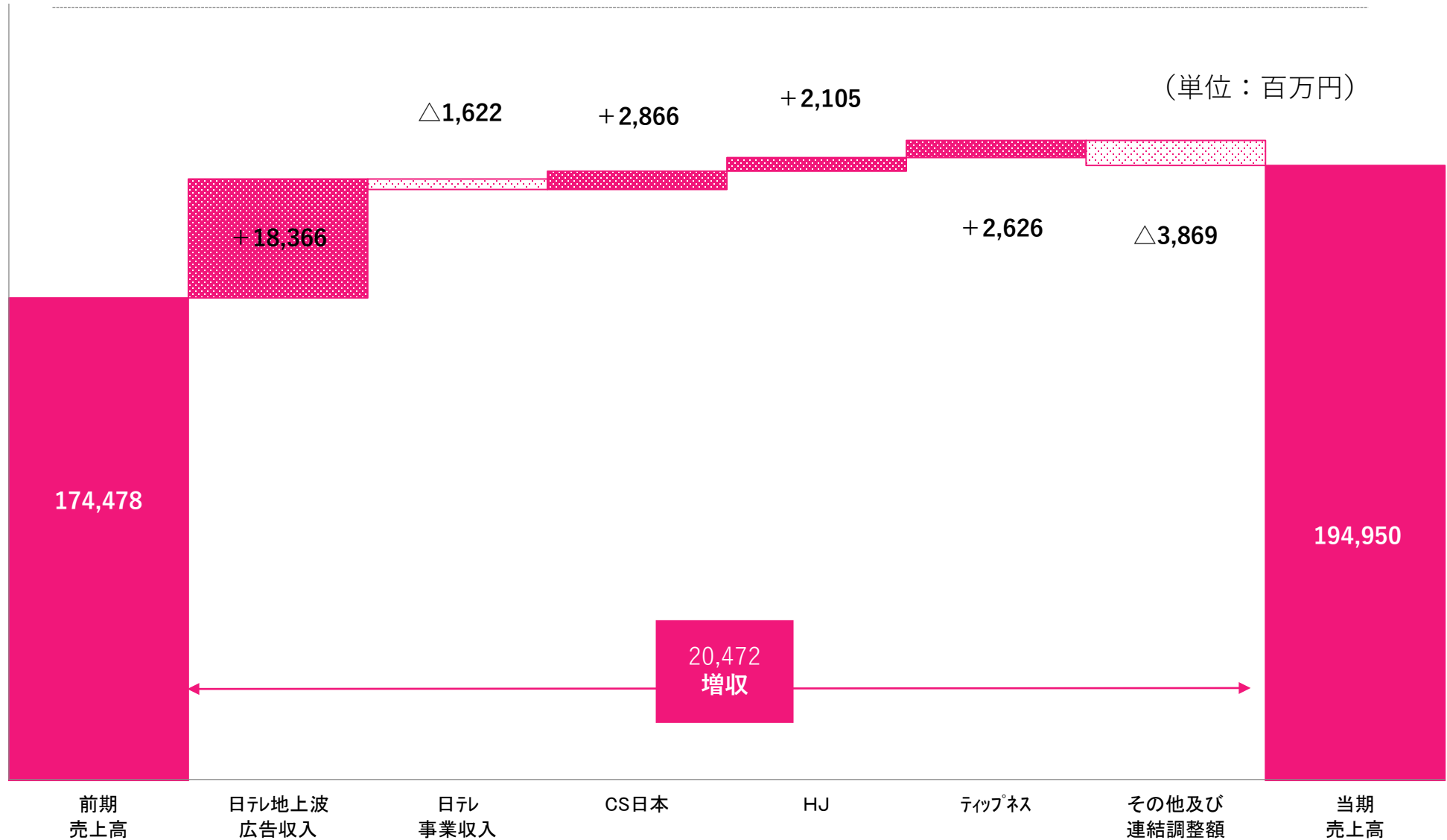
- ・ スポット収入が前回発表を上回る見込み
- ・ 投資有価証券売却益を計上

2021年度第2四半期 連結決算概況

(単位：百万円)

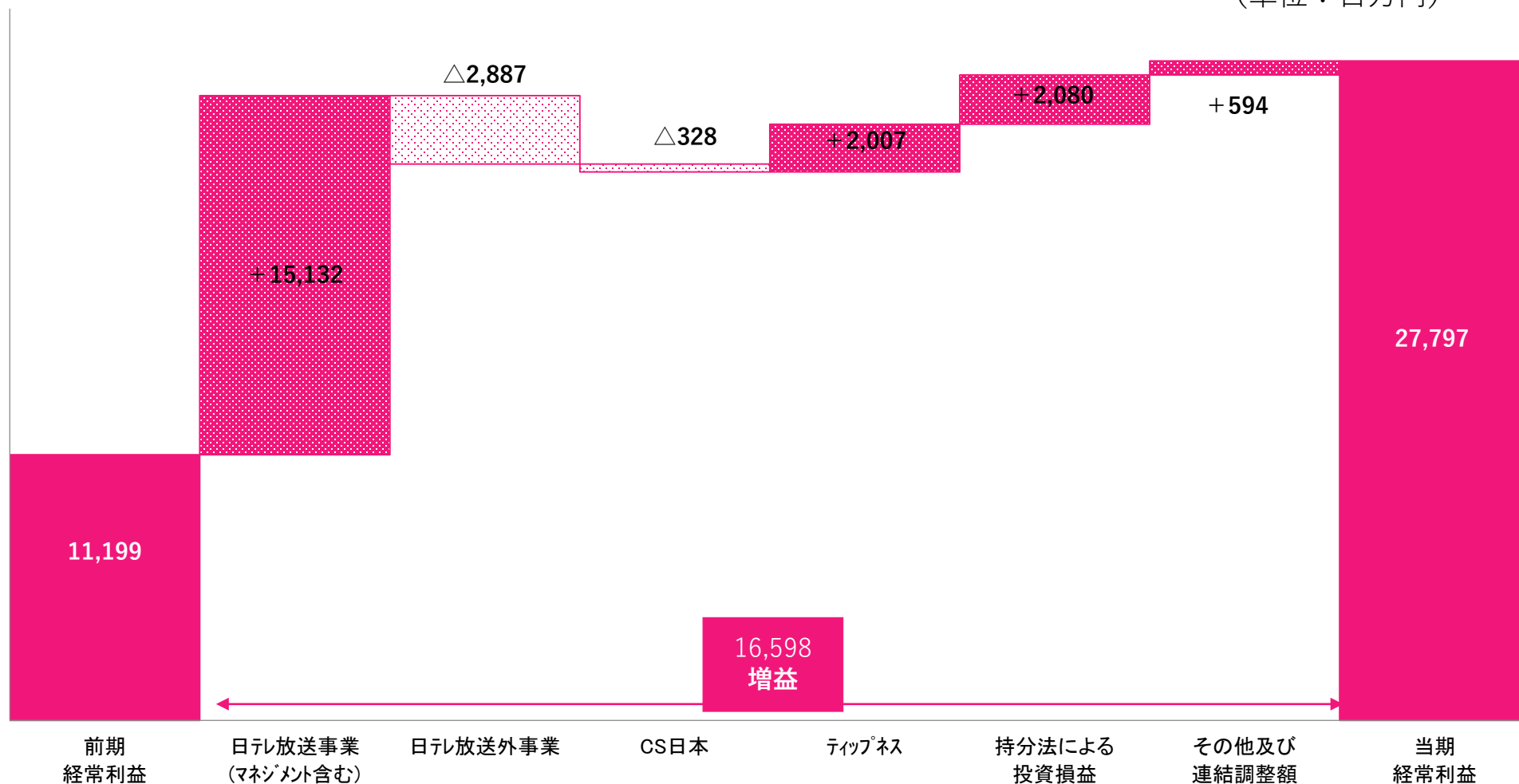
	2020年度 第2四半期	2021年度 第2四半期	増減率 (%)
売上高	174,478	194,950	11.7
営業利益	9,119	24,341	166.9
経常利益	11,199	27,797	148.2
親会社株主に 帰属する四半期純利益	△5,656	18,440	—

売上高の前年同期増減分析



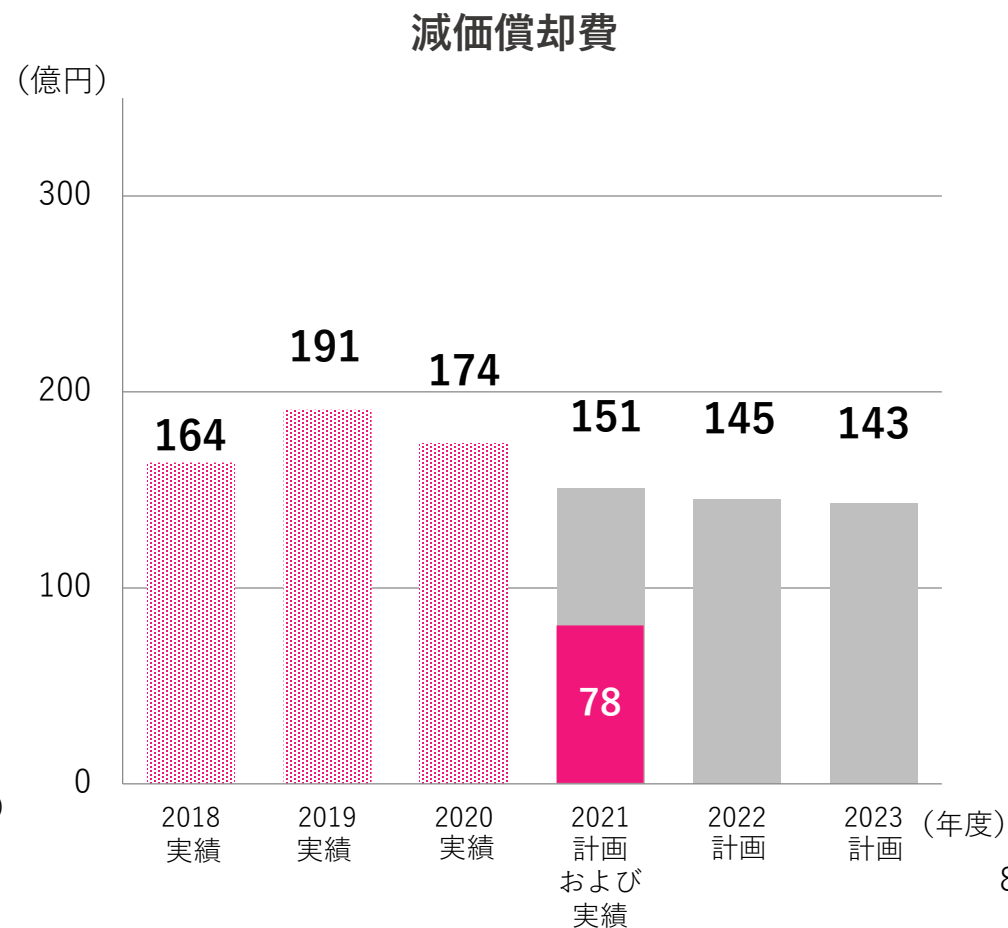
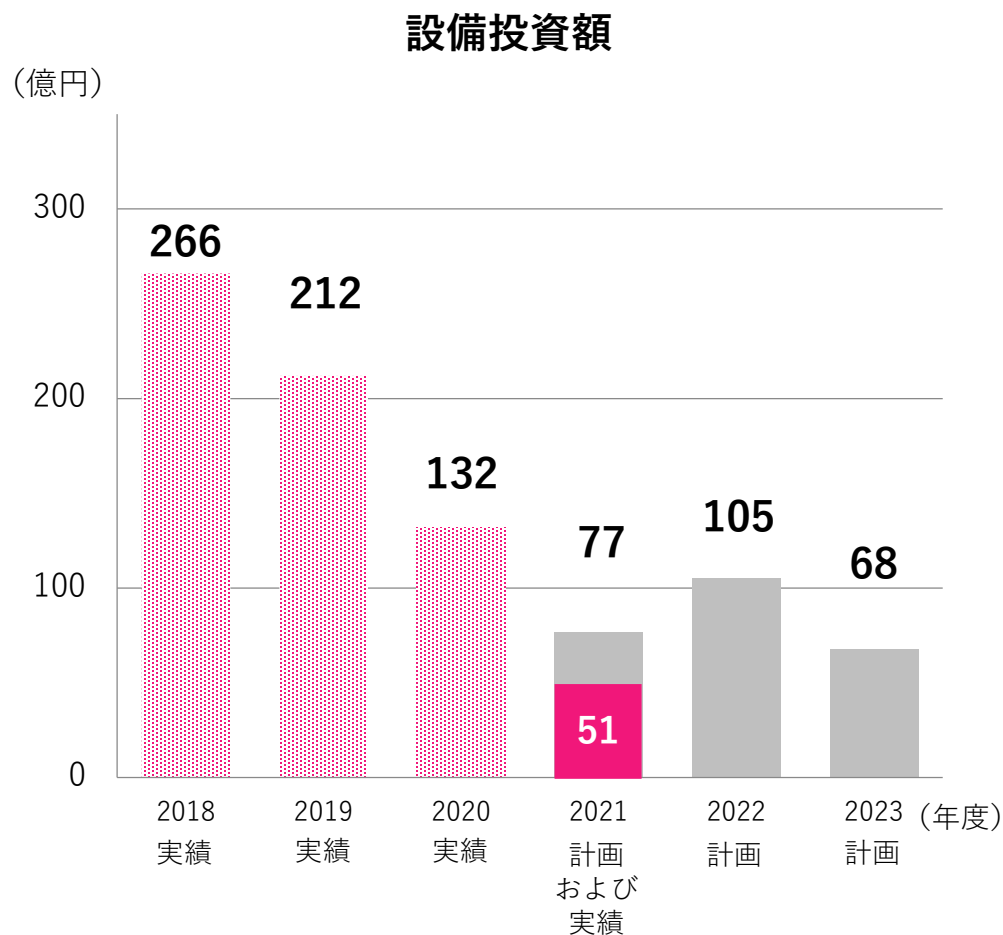
経常利益の前年同期増減分析

(単位：百万円)



設備投資・減価償却費（連結）

2021年度第2四半期 (単位：億円)	設備投資額	減価償却費
	51	78



- ・ 2021年度2Q決算について
- ・ **主なグループ企業の状況**
- ・ 2021年度の見通し
- ・ コンテンツビジネス戦略
- ・ デジタル戦略・新規事業
- ・ サステナビリティポリシー

日本テレビ放送網 決算概況

(単位：百万円)

	2020年度 第2四半期	2021年度 第2四半期	増減率 (%)
売上高	128,338	144,799	12.8
営業利益	9,154	21,481	134.7
経常利益	11,446	23,574	106.0
四半期純利益	14,488	16,984	17.2

日本テレビ放送網 営業収入

(単位：百万円)

	2020年度 第2四半期	2021年度 第2四半期	増減率 (%)
放送収入	98,691	117,057	18.6
番組販売収入	5,662	5,319	△6.0
事業収入	22,859	21,237	△7.1
不動産賃貸収入	1,125	1,184	5.2
合計	128,338	144,799	12.8

日本テレビ放送網 放送収入

(単位：百万円)

	2020年度 第2四半期	2021年度 第2四半期	増減率 (%)
放送収入	98,691	117,057	18.6
タイム	59,066	59,983	1.6
スポット	39,625	57,074	44.0

日本テレビ放送網 営業費用

(単位：百万円)

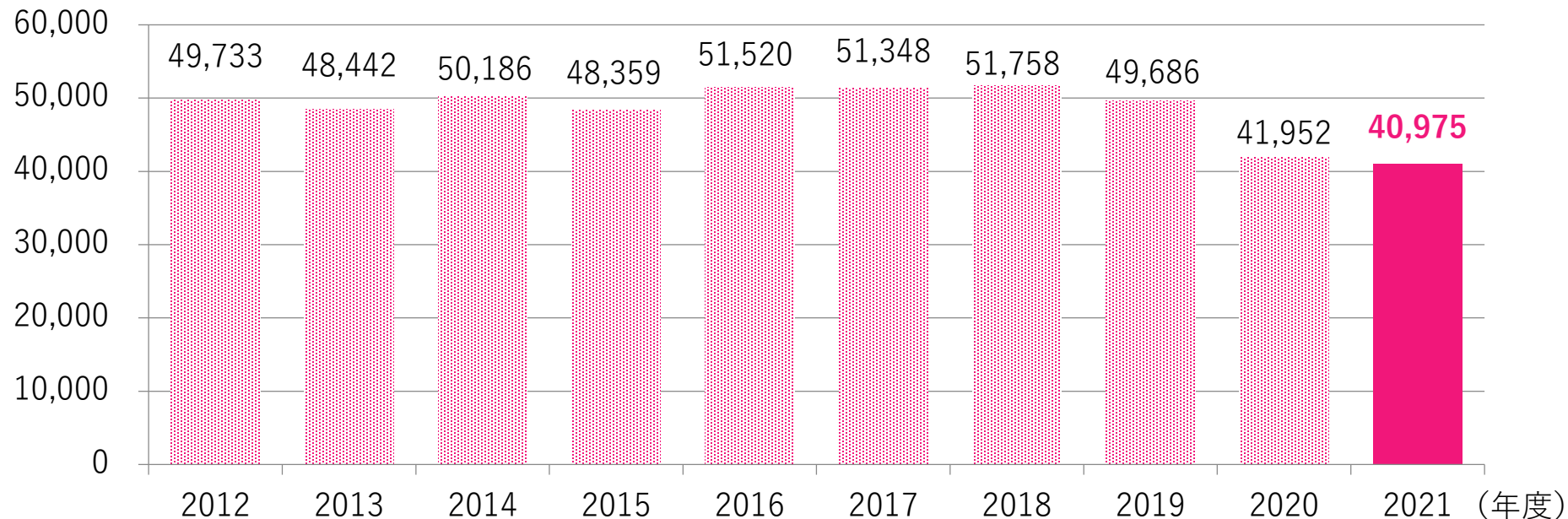
	2020年度 第2四半期	2021年度 第2四半期	増減率 (%)
番組制作費	41,952	40,975	△2.3
人件費	10,785	10,900	1.1
減価償却費	5,465	5,227	△4.4
事業費	16,034	17,068	6.5
その他	44,945	49,145	9.3
合計	119,184	123,317	3.5

日本テレビ放送網 番組制作費

(単位：百万円)

2020年度 第2四半期	2021年度 第2四半期	増減率 (%)
41,952	40,975	△2.3

番組制作費（第2四半期）



日本テレビ放送網 事業収支

(単位：百万円)

		2020年度 第2四半期	2021年度 第2四半期
映画	収入	5,001	2,028
	費用	3,356	1,062
	収支	1,644	967
イベント	収入	228	1,082
	費用	282	1,324
	収支	△54	△241
通販	収入	6,401	4,619
	費用	5,338	4,268
	収支	1,063	351
アニメ	収入	—	2,216
	費用	—	1,203
	収支	—	1,013
海外ビジネス	収入	1,091	743
	費用	444	122
	収支	647	620

		2020年度 第2四半期	2021年度 第2四半期
IPビジネス	収入	870	645
	費用	218	516
	収支	652	129
コンテンツ ビジネス※	収入	4,397	618
	費用	2,220	300
	収支	2,177	317
その他	収入	4,872	9,285
	費用	4,176	8,272
	収支	696	1,013
合計	収入	22,859	21,237
	費用	16,034	17,068
	収支	6,825	4,169

※今期より日テレG+、日テレNEWS24のCS日本への業務移管により名称変更しました。

その他グループ会社の状況

(単位：百万円)	BS日本	CS日本	日本テレビ音楽	バップ	ティップネス
売上高	8,057 (11.2%)	4,913 (116.2%)	3,436 (△40.8%)	3,788 (△29.2%)	10,962 (31.4%)
営業利益 又は損失 (△)	889 (18.1%)	95 (△77.5%)	771 (△27.5%)	813 (62.4%)	△1,661 (-)
経常利益 又は損失 (△)	915 (16.0%)	98 (△77.0%)	789 (△27.8%)	912 (50.4%)	△1,802 (-)
四半期純利益 又は損失 (△)	633 (15.9%)	67 (△77.1%)	518 (△32.2%)	813 (42.2%)	△2,361 (-)

(単位：百万円)	日テレ7	タツノコプロ	HJホールディングス	ACM	PLAY
売上高	1,471 (△8.4%)	768 (△10.4%)	16,111 (15.4%)	1,163 (89.1%)	3,202 (17.7%)
営業利益 又は損失 (△)	70 (△32.2%)	28 (185.2%)	685 (20.4%)	△438 (-)	681 (△5.3%)
経常利益 又は損失 (△)	72 (△31.9%)	29 (52.0%)	688 (18.0%)	△414 (-)	682 (△6.0%)
四半期純利益 又は損失 (△)	49 (△31.5%)	18 (41.4%)	651 (12.1%)	△426 (-)	420 (△2.3%)

注： ()の数値は前期比増減率を表しています。前期もしくは当期損失計上の場合、増減率は「-」表記しています。

- ・ 2021年度2Q決算について
- ・ 主なグループ企業の状況
- ・ **2021年度の見通し**
- ・ コンテンツビジネス戦略
- ・ デジタル戦略・新規事業
- ・ サステナビリティポリシー

連結業績予想及び配当予想

連結業績予想

(単位：百万円)	2020年度実績	2021年度予想	増減率(%)
売上高	391,335	400,000	2.2
営業利益	34,526	46,000	33.2
経常利益	42,944	52,000	21.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	24,042	41,000	70.5

配当予想（1株あたり）

(単位：円)	第2四半期末	期末	合計
2020年度（実績）	10	25	35
2021年度（予想）	10	25	35

2021年度地上波テレビ広告収入の見込み（前期比）

通期予想	
テレビ広告収入	+6.1
（うちタイム）	-0.1
（うちスポット）	+13.2

- ・ 2021年度2Q決算について
- ・ 主なグループ企業の状況
- ・ 2021年度の見通し
- ・ **コンテンツビジネス戦略**
- ・ デジタル戦略・新規事業
- ・ サステナビリティポリシー

2021年（1月～10月） 個人視聴率

2021/01/04(月)～2021/10/31(日)

	NTV	EX	TBS	TX	CX	PUT
全 日	① 4.1	② 3.9	③ 3.1	⑤ 1.5	④ 3.0	22.3
6時～24時	▲0.6	▲0.3	▲0.3	±0.0	▲0.1	▲1.2
プライム	① 6.0	② 5.9	③ 4.7	⑤ 3.3	④ 4.5	34.4
19時～23時	▲0.9	▲0.5	▲0.6	▲0.1	▲0.2	▲1.9
ゴールデン	① 6.3	② 5.8	③ 4.7	⑤ 3.7	③ 4.6	36.6
19時～22時	▲0.9	▲0.4	▲0.7	▲0.1	▲0.2	▲1.8
ノンプライム	① 3.5	② 3.3	③ 2.7	⑤ 0.9	④ 2.5	18.8
全日－プライム	▲0.6	▲0.3	▲0.2	▲0.1	▲0.2	▲1.1
プラチナ	① 3.1	② 2.2	③ 2.0	⑤ 1.0	④ 1.9	13.4
23時～25時	▲0.5	▲0.4	▲0.1	▲0.2	±0.0	▲1.2

左からデジタルチャンネル順／個人視聴率（関東地区）ビデオリサーチ調べ／下段は前年度との差・比較期間2019/12/30(月)～2020/11/01(日)

☑️ コロナ禍で在宅率の高かった昨年と比較すると、各局数値を下げているものの、日本テレビは11年連続「個人3冠」へ向け推移中

2021年（1月～10月）コアターゲット視聴率

2021/01/04(月)～2021/10/31(日)

	NTV	EX	TBS	TX	CX	PUT
全 日	① 3.5	④ 1.7	③ 1.8	⑤ 0.7	② 2.3	12.2
6時～24時	▲0.7	▲0.2	▲0.2	±0.0	▲0.2	▲1.4
プライム	① 5.5	④ 3.2	③ 3.6	⑤ 1.7	② 4.0	21.6
19時～23時	▲1.2	▲0.3	▲0.5	▲0.1	±0.0	▲2.2
ゴールデン	① 5.7	④ 3.1	③ 3.6	⑤ 1.8	② 4.1	22.3
19時～22時	▲1.3	▲0.1	▲0.4	▲0.2	±0.0	▲2.1
ノンプライム	① 2.9	③ 1.3	③ 1.3	⑤ 0.4	② 1.8	9.5
全日－プライム	▲0.6	▲0.2	▲0.1	±0.0	▲0.2	▲1.1
プラチナ	① 2.9	② 2.0	④ 1.5	⑤ 0.7	③ 1.8	10.5
23時～25時	▲0.9	▲0.5	▲0.2	▲0.1	▲0.2	▲1.8

左からデジタルチャンネル順／コアターゲット視聴率（関東地区）ビデオリサーチ調べ／下段は前年度との差・比較期間2019/12/30(月)～2020/11/01(日)

- ☑ コアターゲットは「男女13-49歳」を指す日本テレビオリジナル指標
「クライアントニーズ」が高い、就業就学者にどれだけ支持されているかを示す
- ☑ 日本テレビは9年連続「コア3冠」へ向け推移中

日本テレビ「朝番組」の10月期戦略

●「ZIP！」

★「コアターゲット視聴率に注力 → 個人視聴率引き上げ」を狙う

★ 10月第1週から強力企画を続々導入！

→水曜パーソナリティー・かまいたち濱家企画

→新木曜パーソナリティー・DAIGOの
社会科見学企画

➡10月は、前月比で個人+0.4%、コア+0.5%



●「スッキリ」

★「オープニング」、「9時台の名物企画」を重点強化

★「Nizi Project」に続いて話題となった

「THE FIRST」のような話題作りを通じて、

「OFF層」を「リアルタイム視聴」へ

★話題となるニュースの中心人物や、

世界的アーティスト、アスリート等の大物ゲスト生出演に挑戦



日本テレビのマルチプラットフォーム展開の実践例

●水曜ドラマ「ハコヅメ～たたかう！交番女子～」

地上波での話題化とYouTube動画などのWEBコンテンツが相乗効果を生み、Hulu、AVODで**歴代1位の記録を塗り替える好結果を多数残した。**

総再生回数 2,746万回 平均再生数 267万回

日テレドラマ歴代最高の総再生＆平均再生回数を記録

TVerマイリスト登録：103万超えで日テレ最高の数値に。

週を重ねるたびに視聴回数、視聴UUともに大きく数値を伸ばす。

Hulu全体の**週間視聴UUランキングは5週連続で1位**を記録。

公式YouTube動画の視聴回数は

**“通常点検”の動画が646万回視聴されたのをはじめ
累計4,000万回超えで、水曜ドラマ歴代最高を更新。**

YouTubeでのバズりが、
地上波の話題化にもつながった。



2021年度 注目のコンテンツビジネス戦略



● 映画事業

・2021年12月10日(金)公開

「あなたの番です 劇場版」

Twitter 世界トレンド 1 位 5 度獲得！

最終回、総合視聴率 25% 記録！

日本中に考察ブームを巻き起こしたドラマ史に残る衝撃作！

もしもあの日「交換殺人ゲーム」が始まらなかったら...？

ドラマとは違う新しい結末で、ついに映画化！！

2つの家族。親たちがついていた命がけの嘘と秘密とは？



10月29日(金)より公開中
「そして、バトンは渡された」

本屋大賞受賞！

令和最大のベストセラー映画化

92.8%が泣いた！(ワーナー試写調べ)

映画のラスト《嘘と秘密》を知った時、
家族を超えた絆に驚き、涙するー



2022年1月28日(金)公開
「ノイズ [noise]」

映画「デスノート」から15年
藤原竜也×松山ケンイチが再タッグ！
今度は殺人の共犯者に！
死体がばれたら、全てが終わるー
新感覚サスペンス!!

2021年度 注目のコンテンツビジネス戦略



● アニメ＆海外事業

・日テレアニメ事業は“過去最高益”見込む

2021年度は、世界的巣籠もり需要の高まりを背景に、**国内外セールスが好調な「EDENSZERO」と、海外での異世界ブームもあり、日本テレビ史上最高の海外セールスを記録した「月が導く異世界道中」の2作品によって、上半期、通期ともに、日テレアニメビジネス過去最高益を見込む。**特に、「月が導く異世界道中」は、国内でも、dアニメストアでデイリー1位、Netflixで国内2位を記録、**第2期の制作も決定。**



・下半期の注目作！「ルパン3世PART6」

下半期の注目作は、今年、**アニメ化50周年**を迎える、「**ルパン三世PART6**」。ゲストライターに押井守、湊かなえ、といった豪華なクリエイター陣を揃えているのも話題に。

・出資アニメのクール数増加中

- ・日本テレビ出資アニメは、2020年度1クール→2021年度6クール→2022年度8クール（決定済のみ）を予定。**まだ発表出来ない大型作品も続々準備中。**

- ・ 2021年度2Q決算について
- ・ 主なグループ企業の状況
- ・ 2021年度の見通し
- ・ コンテンツビジネス戦略
- ・ **デジタル戦略・新規事業**
- ・ サステナビリティポリシー



TVerの取り組み 2Qまとめ

- ◆レギュラー番組 約400番組を配信中
- ◆アプリダウンロード累計 約4100万（9月末）
- ◆8月にMUB（重複を除いた月間訪問者数）最高値1760万を記録
- ◆民放オリンピック公式サイトgorin.jpと連携
7月・8月のMUB増加に成功
 - ・過去最高値を更新



- ◆10月2日(土)から「日テレ系ライブ配信」開始！！
 - ・GP帯を中心としたレギュラー番組合計25番組をTVerにてライブ配信
 - ・生活者ファーストを目指し、デジタルデバイス上でもテレビコンテンツの魅力をより広い層にアピールしていきます

hulu HJホールディングス 2Qまとめ

◆有料会員数は歴代最高を更新、2Q売上高は前年同期比115.4%

◆オーディション番組「THE FIRST」が会員獲得を牽引



・「Nizi Project」に続き、
情報番組「スッキリ」との連動で高い獲得に繋がった

◆「死神さん」「モモウメ」等、Huluでしか見られないオリジナルドラマ好調！
「君と世界が終わる日に」Season 3 も来年 2 月配信決定！



◆7月から、新サービスとして「オーディオコンテンツ」を提供開始

・国内デジタル音声メディア市場の拡大に合わせてローンチ、語学学習・音楽・音声ドラマ等

日本テレビの新規事業 ～全8事業を運営～

●人材育成・人事支援事業 日テレHR

- ⇒ネットワーク各社と連携したSDGs特別プログラムを学校教育現場に提供。
- ⇒「HRアワード2020」プロフェッショナル部門優秀賞を受賞。
- ⇒2Q売上高は前年同期比124%



オンライン企業研修の様子

●VTuber事業

- ⇒VTuber番組「プロジェクトV」放送中！
- ⇒VTuber専門Webメディア「Up-Station」を立上げ！
- ⇒日本最大級のオンライン展示会イベントを11月に開催予定！
- ⇒VTuberのネットワーク「V-Clanネットワーク」は参加者400名
チャンネル登録者数800万人を超え、世界最大規模に！



●スポーツの個別指導ドリームコーチング

- ⇒元プロ選手や五輪選手、現役選手など、トップアスリートが
個人にスポーツを教えるマッチングサービス。
- ⇒実施件数1,500件を超え、口コミの97%が最高評価の★5つ！
- ⇒東京ヴェルディベレーザとの協業や、巨人軍元選手の参加など、
プロチーム・スポーツ団体との連携も！



戦略的投資について

●サステナブル投資 第一弾

⇒スピーカー100年の歴史を変える

テレビの音を聴こえやすい音に変換する世界初の特許技術
「曲面サウンド」を搭載する「ミライスピーカー®」を展開する
株式会社サウンドファンへ出資

⇒世界的に「聴こえ」の問題が大きな社会課題となる中、
「聴こえ」の課題解決と音のバリアフリーの実現を目指す
サウンドファンへの出資を通じて「持続可能な未来」へ貢献

⇒第2位の株主（事業会社として筆頭）に



●デジタル領域事業強化

⇒スポーツ中継ライブ配信の効率的制作技術システムを独自開発し、
年間1,800試合以上の多種多様な競技の中継制作実績を誇る
EASY PRODUCTION株式会社へ出資

⇒スポーツ中継を始めとするライブ配信市場の更なる拡大に向けて、
安定的かつ機動的に制作できる体制を構築し、
動画配信事業の拡大を中心としたデジタル領域事業を強化

⇒日本テレビグループの関連会社に





サステナビリティポリシー

NIPPON TV HOLDINGS SUSTAINABILITY POLICY

**日本テレビホールディングスは、
あらゆる活動をクリエイティブに発想し
持続可能な未来に向けて積極果敢に取り組めます。**

私たちは「豊かな時を提供する」という理念のもと
「24時間テレビ」をはじめとする様々な社会貢献活動を行ってまいりました。
この活動を日本テレビホールディングス全体としてさらに推進し、
未来の時を豊かにするための「サステナビリティポリシー」を策定しました。





地球環境への貢献

自然豊かな地球を未来世代に残すため、温室効果ガス削減や太陽光発電事業に取り組むとともに、将来的には日本テレビホールディングス全体でのカーボンニュートラル実現を目指します。

目標

再生可能エネルギー比率

2030年度までに 100%

(日本テレビ放送網)

2018年～2020年度平均

CO2排出量 29,282 トン
(t-CO2)

再生可能エネルギー比率 14.7%
(日本テレビ放送網)

CO2削減 -27.8%
(日本テレビ放送網・2013年度比)

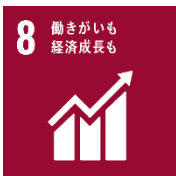
グリーン電力の導入650万kWh
(日本テレビ放送網)

グループ会社での太陽光発電
2,065万kWh (2020年度)

日本テレビ放送網（汐留本社、番町エリア、生田スタジオ、各支部・支局等）の全ての電力の再生可能エネルギー比率を2030年度までに100%へ引き上げます。

2013年度比で27.8%のCO2を削減。今後も照明のLED化、高効率機器への設備更新によるエネルギーの削減とグリーン電力などの導入により、再生可能エネルギー化を推進します。

また、太陽光発電事業では、日本テレビ放送網全スタジオの年間消費電力の約1.5倍にあたる2,065万kWhを発電し、国内の再生可能エネルギー化にも貢献しています。



健康でクリエイティブな職場作り

<日本テレビ健康経営宣言>

社員の心身の健康管理をサポートし、労働生産性を高めながら、業務に携わる全ての人が創意工夫を最大限に発揮できる、働きがいのある職場環境作りに取り組むことを宣言します。

目標

健康経営の推進

健康保持・増進施策の充実

職場環境の整備・ワークライフバランスの実現

2020年度

平均勤続年数 16.9年

離職率 0.8%

(日本テレビ放送網)

現状日本企業平均よりも長い勤続年数、低い離職率となっています（日本企業平均勤続年数 12.4年）。引き続き社員が安心して長く働ける環境作りを継続します。

「社外チャレンジ休職」制度

資格取得試験費用の全額補助

副業制度（55歳以上の社員）

(日本テレビ放送網)

留学・資格取得等のために最長2年休職可能な「社外チャレンジ休職」制度、会社が認めた資格の取得にかかる費用の補助制度などを通じ、社員の成長を積極的にサポートします。また、副業制度の導入により、セカンドキャリアを見据えた社員の活躍を応援します。



多様な人材の活躍と共生

多様性の一つである女性の活躍推進や、社員一人ひとりが自分らしく働くことのできる制度作りを通じて、社会の様々な価値観に寄り添うことのできる企業風土を醸成します。

目標

女性管理職比率

2030年度までに 25%

(日本テレビ放送網)

同性パートナー制度の グループ全体での導入

同性間のパートナー婚の際も、異性間の結婚と同様に

祝金、結婚特例休暇を認める制度

(日本テレビ放送網では2021年6月導入済み)

2020年度

育休・産休復帰率 100%

※復職予定者を含む

新卒採用の女性比率 46.7%

(日本テレビ放送網)

充実した育児休業制度、育児時の勤務時間短縮制度等で女性社員をサポートし、職場復帰を支援します。また、未来世代を担う新卒採用比率でも、職場の多様性を確保します。

女性アスリート支援



女性サッカーチーム「日テレ・東京ヴェルディベレーザ」のネーミングライツパートナーを通じ、女性アスリートの活躍支援を行っています。



未来を豊かにする情報発信

社会課題の発信はメディアの重要な役割であることを認識し、長年「愛は地球を救う」を掲げて活動してきた日本テレビホールディングスだからこそできるSDGsの発信を行います。

目標

「Good For the Planet」 の通年展開

**SDGsに関する積極的な報道と
動画配信による充実した発信**

24時間テレビ44 愛は地球を救う

放送：2021年8月21日～8月22日



寄付額 8億8,621万4,435円

個人視聴率 7.0 %

(ビデオリサーチ調べ 関東地区 個人全体視聴率・全枠平均)

到達人数 7724.4万人

(ビデオリサーチ調べ 到達人数推計 31局・1584分)

1978年の放送開始以来、「福祉」「環境」「災害復興」など公益性の高いテーマを時代に合った形で放送。

番組で呼びかけた寄付額は、44回累計で414億5,036万6,036円となっています。



初回から行っている福祉車両の寄贈は累計11,618台になりました



障がい者スポーツキットは全国の児童・生徒に活用頂いています



コロナ禍で困窮する子どものため「子ども食堂」への支援を始めました



参加番組 44 番組



参加番組 24 番組以上

Good For the Planet ウィーク

放送：2021年5月31日～6月6日

世界環境デーに合わせ、日テレ系の番組がさまざまなジャンルの「未来にいいこと」「地球にいいこと」を発見・発信していくキャンペーン。

<https://www.ntv.co.jp/goodfortheplanet/>

カラダWEEK 2021

放送：2021年10月30日～11月6日

2015年より、健康や体をテーマにウィーク展開。番組企画や参加型ウォーキング企画などを通じて、視聴者の健康意識向上に貢献。

https://www.ntv.co.jp/karada_week/



快適な暮らしのサポート

ティップネス、Hulu、不動産事業など、日々の生活に密接に関わる各事業においても、皆さまの健康で快適な暮らしの実現をサポートします。

- ・ **フィットネスクラブのティップネスでは、すべての人の健康と健康寿命の伸長に貢献**
- ・ **有料動画配信サイトのHuluでは、エンターテインメントのインフラ構築で生活の質を向上**
- ・ **不動産事業では、環境に配慮したまちづくりで人々の暮らしをサポート**



フィットネスクラブ
ティップネス



ティップネス

ティップネスでは、店舗やオンラインを通じ、すべての人の健康維持及び、法人各社の健康経営や地域の健康づくりに貢献します。また、ヘルスケアに関する情報を発信することで、国民の健康寿命伸長をサポートします。



HJホールディングス

HJホールディングスでは、デジタルエンターテインメントを通じて感動体験をつくりだすサービスを中心に社会に貢献します。人々にかげがえのない時間を届け、Happyな世界をつくることを目指します。



法令遵守とガバナンスの徹底

報道機関としての社会的責任を果たし、グループ全体のコンプライアンスの強化とガバナンスを徹底します。

- **コンプライアンスの遵守**
- **個人情報データの適切な管理**
- **コンプライアンス研修の充実**
- **ハラスメントの防止**
- **グループ全体のガバナンスの徹底**
- **問題が発生した際の情報開示**

補足資料

セグメント別 実績

(単位：百万円)

2021年度 第2四半期	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	メディア・ コンテンツ事業	生活・健康 関連事業	不動産 関連事業	計				
売上高	181,038	10,725	5,158	196,922	3,572	200,494	△5,544	194,950
セグメント利益 又は損失 (△)	24,393	△ 1,769	1,954	24,578	253	24,831	△490	24,341

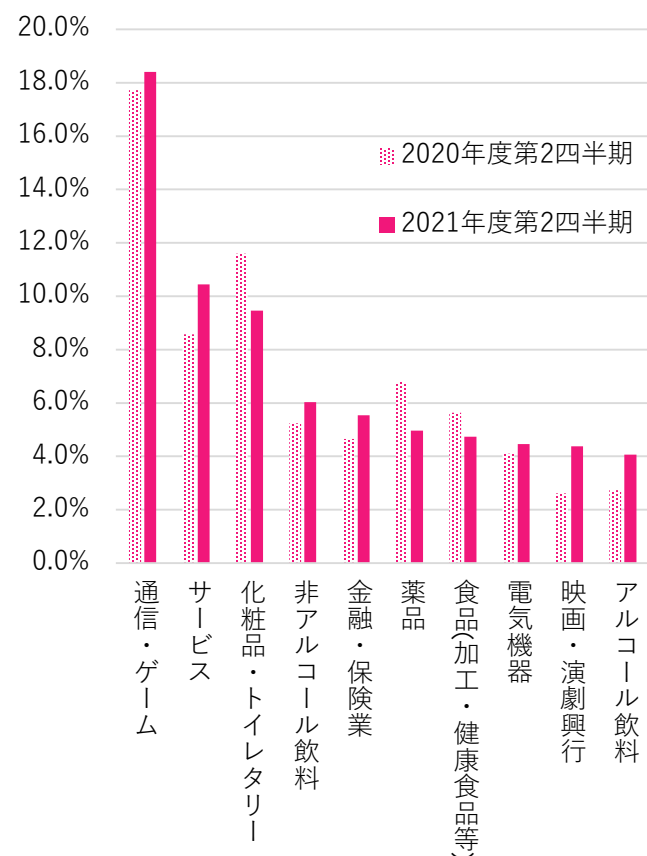
事業区分	主な事業内容
メディア・ コンテンツ事業	テレビ広告枠の販売、動画配信事業、有料放送事業、 映像・音楽等のロイヤリティ収入、パッケージメディア等の販売、通信販売、 映画事業、イベント・美術展事業、テーマパークの企画・運営、 コンテンツ制作受託
生活・健康関連事業	総合スポーツクラブ事業
不動産関連事業	不動産の賃貸、ビルマネジメント、太陽光発電事業

放送収入 前年同月比

タイム	2020年度 (%)	2021年度 (%)
4月	△2.4	△4.8
5月	1.9	△1.2
6月	△3.1	0.4
7月	△3.8	8.2
8月	0.6	14.5
9月	△11.6	△8.8

スポット	2020年度 (%)	2021年度 (%)
4月	△24.7	25.9
5月	△40.2	79.8
6月	△47.5	100.3
7月	△32.6	29.3
8月	△26.4	18.2
9月	△18.5	33.9

スポット業種別売上シェア - 地上波（日本テレビ放送網） -



	2020年度 第2四半期	シェア (%)	増減率 (%)
1	通信・ゲーム	17.7	△ 4.2
2	化粧品・ トイレタリー	11.6	△ 36.1
3	サービス	8.6	△ 47.4
4	薬品	6.8	△ 7.0
5	食品 (加工・健康食品等)	5.6	△ 11.1
6	輸送機器	5.6	△ 33.1
7	非アルコール飲料	5.2	△ 44.3
8	金融・保険業	4.7	△ 49.4
9	電気機器	4.1	△ 36.9
10	官庁・団体・その他	3.7	32.4

2021年度 第2四半期	シェア (%)	増減率 (%)
通信・ゲーム	18.4	49.6
サービス	10.4	75.5
化粧品・ トイレタリー	9.5	17.5
非アルコール飲料	6.0	65.9
金融・保険業	5.5	71.2
薬品	5.0	5.4
食品 (加工・健康食品等)	4.7	20.9
電気機器	4.5	56.8
映画・演劇興行	4.4	141.4
アルコール飲料	4.1	113.9

注：増減率は実績の前年同期比。内部管理数値です。

2021年 映画事業の主なラインナップ

☆＝日テレ主幹事 ★＝日テレ共同幹事

公開	作品名	配給	備考	
12/10 (金)	☆あなたの番です 劇場版	東宝	日本中を席卷したあのドラマが帰ってくるー もし、あのマンションの事件が始まらなかったら… 劇場版はパラレルワールド！ 今度は誰が犯人なのか!? 新たな考察が今始まる！ 監督：佐久間紀佳 出演：原田知世 田中圭 西野七瀬 横浜流星ほか	
2022年 1/28 (金)	☆ノイズ【noise】	ワーナー	映画「デスノート」から15年 藤原竜也×松山ケンイチが再タッグ！ 過疎化が進む孤島で起きた偶然の殺人ー 死体がバレたら全てが終わる!新感覚サスペンス 監督：廣木隆一 出演：藤原竜也 松山ケンイチ 神木隆之介ほか	
近日 公開	★鹿の王 ユナと約束の旅	東宝	2015年本屋大賞のベストセラーを日本最高峰のア ニメスタッフが映画化。 「千と千尋の神隠し」「君の名は。」など大ヒット 作品で作画監督を務めてきた安藤雅司の初監督作品 KADOKAWA・日本テレビ共同幹事作品 監督：安藤雅司 宮地昌幸 出演：堤真一 竹内涼真 杏ほか	

※新型コロナウイルス感染拡大に伴い「鹿の王 ユナと約束の旅」は2021年9月10日(金)公開から公開延期をしております。
新しい公開日については決定次第、公式HPにてお知らせいたします。

2021年イベント事業の主なラインナップ

※新型コロナウイルスの影響で開催が延期・中止になる可能性あり

期間	イベント名	内容
[東京展] 8月21日(土)～12月5日(日) 寺田倉庫G1ビル	「バンクシーって誰?展」 	アート界の異端児“バンクシー”の謎に迫る、日本オリジナルの展覧会! 世界各都市を巡回し人気を博した「ジ・アート・オブ・バンクシー展」の傑作群を、日本オリジナルの切り口で紹介する大規模な展覧会。プライベート・コレクター秘蔵のオリジナル作品に加え、活動の主戦場である“ストリート”に描かれた作品を、テレビ局ならではの街並み再現展示で紹介し、全面撮影可能な没入空間を創出します。 ——それはまるで“映画のセット”。 いま世界で最も注目を集める“時代の先駆者“バンクシー”。その活動の意味を、幅広い世代に楽しく理解していただける貴重な機会となります! 東京以降、名古屋、大阪、郡山、高岡、福岡に巡回予定。
[東京展] 10月1日(金)～12月19日(日) 国立新美術館 企画展示室 1E	庵野秀明展 	展示物1500点以上! 世界初! 総監督を務めた最新作『シン・エヴァンゲリオン劇場版』が、興行収入100億円を突破する大ヒットを記録した庵野秀明。本展は、アニメーター時代に参加した過去作品や、監督、プロデューサーとして活躍する最新の仕事までを網羅し、創作活動の秘密に迫る。自身の原点となった「アニメ」「特撮」作品の貴重な原画やミニチュアなどをはじめ、アマチュア時代から現在までの直筆の膨大なメモやイラスト、独自の映像作りに欠かせない脚本、設定、イメージスケッチ、画コンテ、レイアウト、原画からミニチュアセットに至るまで多彩な制作資料を余すところなく展示する世界初の展覧会。東京以降、大分、大阪、山口他へ巡回予定。
1月28日(金) 18:00～ LINE CUBE SHIBUYA (渋谷公会堂)	Japan Musical Festival2022 	豪華ミュージカルスターが集まるフェスティバル! 人気沸騰中のミュージカル界から豪華スターが集まるフェスティバル。実力派から若手俳優、2.5次元や歌舞伎界などジャンルを超え、圧巻の歌声を持つアーティストの夢の共演です。 2022年期待のミュージカルのサキドリや今回しか実現しない組み合わせも楽しめます。最新スクリーンに浮かび上がる3D映像や迫力あるアバターダンスが舞台に華を添えます。 これまでにない新たなミュージカルの楽しみを創り上げる一夜限りのパフォーマンスにご期待ください! 出演者: 中川晃教、加藤和樹、尾上右近、田代万里生、花村想太、鈴木勝吾、平野良、東啓介ほか調整中